

平成22年9月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年2月10日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 河原 克樹
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 ー

上場取引所 大

TEL 0836-32-5161

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第1四半期の業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	377	△25.2	7	△72.9	6	△77.6	2	△86.4
21年9月期第1四半期	503	3.6	28	501.8	27	872.6	14	362.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	87.38	86.86
21年9月期第1四半期	595.32	591.24

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	
22年9月期第1四半期	1,672		884	52.9	38,209.12			
21年9月期	1,754		900	51.3	38,871.73			

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 884百万円 21年9月期 900百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	250.00	—	750.00	1,000.00
22年9月期 (予想)	—	250.00	—	750.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期 累計期間	1,000	△0.5	55	94.3	44	77.6	25	144.6	1,012.67	
通期	2,200	19.7	154	394.4	142	488.9	82	—	3,321.58	

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第1四半期	24,985株	21年9月期	24,985株
② 期末自己株式数	22年9月期第1四半期	1,826株	21年9月期	1,826株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年9月期第1四半期	23,159株	21年9月期第1四半期	24,931株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ、【定性的情報・財務諸表等】をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出が増加し企業の生産活動も持ち直しつつあるものの、雇用や所得環境は依然厳しく、海外景気の下振れ懸念及びデフレーションの影響など、厳しい状況で推移いたしました。

当社の主要販売先である外食産業におきましても、雇用や所得環境が厳しさを増す中で、節約志向の高まりから個人消費の減少が続いており、商品の値下げ等を推し進める企業が相次ぐなど顧客獲得に向けた企業間競争は激化し、厳しい経営環境に直面しています。また、当第1四半期会計期間は外食産業におきまして忘年会等の繁忙期にあたるため、当社のシステムの設置導入が難しい時期にあたります。

このような環境のもと、大手外食チェーンを中心に主力サービスである「ASP基幹業務サービス」、当社企画の「オーダーショット」を中心とした営業活動を行い、新規顧客へのシステム導入及び既存顧客のサービス拡充を行ってまいりました。

その結果、外食産業を取り巻く外部環境の厳しさの影響により、当第1四半期会計期間の売上高は377,074千円（前年同期比25.2%減）となりました。利益面に関しても、売上高の減少が影響し、営業利益7,840千円（前年同期比72.9%減）、経常利益6,084千円（前年同期比77.6%減）、四半期純利益2,023千円（前年同期比86.4%減）となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規顧客獲得及び既存顧客へのサービス拡大に注力いたしましたが、外食産業の不採算店舗の閉鎖等が増加した結果、売上高は282,186千円（前年同期比16.0%減）となりました。月額利用料も3ヶ月累計で242,417千円（前年同期比5.6%減）と推移しました。

② システム機器事業

当事業におきましては、第1四半期会計期間は店舗への機器設置が難しい時期にあたります。更に、昨今の厳しい経営環境での設備投資の抑制等による影響の結果、売上高は44,545千円（前年同期比43.3%減）となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売等を行った結果、売上高は50,341千円（前年同期比43.6%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、1,672,046千円となり、前事業年度に比べ82,120千円減少いたしました。主な増減は、流動資産では商品11,219千円の増加、現金及び預金55,721千円、受取手形及び売掛金37,132千円の減少がありました。固定資産においては、繰延税金資産4,199千円、工具器具及び備品2,972千円が減少いたしました。また、流動負債では支払手形及び買掛金65,874千円の減少がありました。純資産につきましては、884,885千円となり、15,345千円減少いたしました。主なものは配当金の支払いによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローによって使用した資金により前事業年度末に比べ57,821千円減少し、当第1四半期会計期間末には529,508千円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において営業活動の結果使用した資金は30,175千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益6,525千円の計上、減価償却費12,374千円の計上及び売上債権38,400千円の減少があった一方で、たな卸資産11,671千円の増加、賞与引当金10,437千円の減少及び仕入債務65,874千円の減少による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において投資活動の結果使用した資金は11,835千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得により使用したことによる資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間において財務活動の結果使用した資金は15,810千円となりました。これは、配当金による支出が15,810千円あったことによる資金の減少によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年11月10日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末におけるたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前会計年度末にかかる実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切下げにあたっては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	535,108	590,829
受取手形及び売掛金	197,397	234,529
商品	535,082	523,862
その他	42,959	38,130
貸倒引当金	△5,351	△5,136
流動資産合計	1,305,196	1,382,216
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	11,594	12,022
工具、器具及び備品(純額)	56,809	59,782
土地	20,429	20,429
建設仮勘定	62,000	64,000
有形固定資産合計	150,833	156,234
無形固定資産		
ソフトウェア	47,043	398
ソフトウェア仮勘定	10,000	51,166
その他	2,445	2,445
無形固定資産合計	59,489	54,009
投資その他の資産		
出資金	135	112
長期前払費用	1,693	905
繰延税金資産	32,381	36,580
その他	181,694	183,961
貸倒引当金	△59,376	△59,853
投資その他の資産合計	156,528	161,706
固定資産合計	366,850	371,950
資産合計	1,672,046	1,754,167
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,447	98,322
短期借入金	629,000	629,000
未払法人税等	1,426	6,350
引当金	3,484	13,921
その他	113,318	98,780
流動負債合計	779,678	846,374
固定負債		
引当金	7,483	7,562
固定負債合計	7,483	7,562
負債合計	787,161	853,936

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,904	534,904
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	338,496	353,842
自己株式	△132,115	△132,115
株主資本合計	884,885	900,230
純資産合計	884,885	900,230
負債純資産合計	1,672,046	1,754,167

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	503,853	377,074
売上原価	300,184	219,664
売上総利益	203,669	157,409
販売費及び一般管理費	174,684	149,569
営業利益	28,984	7,840
営業外収益		
雑収入	455	389
営業外収益合計	455	389
営業外費用		
支払利息	2,323	2,145
その他	1	—
営業外費用合計	2,324	2,145
経常利益	27,115	6,084
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	441
特別利益合計	—	441
税引前四半期純利益	27,115	6,525
法人税、住民税及び事業税	406	625
法人税等調整額	11,867	3,876
法人税等合計	12,273	4,502
四半期純利益	14,841	2,023

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	27,115	6,525
減価償却費	11,040	12,374
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	977	△261
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,181	△10,437
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	334	△78
支払利息	2,323	2,145
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,815	38,400
たな卸資産の増減額 (△は増加)	31,320	△11,671
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,364	△65,874
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△2,819	△4,912
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	37,258	9,915
その他	△61	△848
小計	44,127	△24,723
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△2,531	△1,741
法人税等の支払額	△809	△3,711
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,786	△30,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,343	—
無形固定資産の取得による支出	—	△10,000
定期預金の預入による支出	—	△2,100
その他	—	264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,343	△11,835
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	405,000	384,000
短期借入金の返済による支出	△405,000	△384,000
株式の発行による収入	58	—
自己株式の取得による支出	△5,243	—
配当金の支払額	△18,724	△15,810
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,909	△15,810
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,466	△57,821
現金及び現金同等物の期首残高	570,654	587,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	567,188	529,508

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。